

## 第 80 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 4 年 11 月 8 日 (火) . 13 時 00 分～14 時 40 分

2. 場 所 アルカディア市ヶ谷  
対面会議・WEB 会議 (ZOOM システム) の併用

3. 出席者

会 長	井上 圭三		
副 会 長	楠 文代	中村 明弘	
常務理事	越前 宏俊	浜岡 純治	
	加留部 善晴		
理 事	杉林 堅次	亀井 美和子	
	元木 和幸	神野 透人	
	赤路 健一	中村 恵	
	北川 裕之		
監 事	富田 基郎	市川 厚	
参 与	乾 賢一	本間 浩	

理事現在数 16 名

出席理事数 13 名

会場出席 5 名

WEB 出席 8 名

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、理事現在数 16 名に対し、本日の出席理事は 13 名となり、定款で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、神野理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録 (第 79 回理事会 : 令和 4 年 9 月 27 日開催) について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 役員 (理事) の補充人事について

井上会長から、令和 4 年 9 月 30 日付で辞任した岩城正宏理事 (近畿大学薬学部長を同日付で退任) の後任について、令和 4 年度に実施

した理事選挙の結果に基づき、「資料3」のとおり、武庫川女子大学篠塚和正薬学部長を理事候補者としていた旨提案があり、協議の結果、全会一致でこれを承認し、11月29日開催の第2回通常総会に諮ることとした。

### (3) 令和5年度事業計画(案)について

小池事務局長から、「資料4」に基づき「令和5年度事業計画(案)」について説明があり、協議の結果、全会一致でこれを承認し、11月29日開催の第2回通常総会に諮ることとした。

### (4) 令和5年度収支予算(案)について

小池事務局長から、「資料5」に基づき「令和5年度収支予算(案)」について説明があり、協議の結果、全会一致でこれを承認し、11月29日開催の第2回通常総会に諮ることとした。

なお、賛助会員の会員減少が見られる中、今後、新たな賛助会員の確保に向けて、広報を含めた検討が必要ではないかとの発言があった。

### (5) 令和4年度教育賞受賞者の選考について

井上会長(教育賞受賞者選考委員会委員長)から、「資料6」に基づき、推薦があった本年度候補者5名(特定の事業に功績のあった者として、協会の各種委員会委員長からの推薦、内1名は大学からも推薦)について、略歴、功績等の説明があった。

次いで、本日午前中に開催した同選考委員会において検討が行われ、推薦があった5名については、広く薬学教育の発展に寄与するとともに、薬学教育に関する普及・啓発活動等に顕著な業績が見られることから、教育賞受賞候補者としてふさわしいと判断し、推薦することとした旨の説明があり、本理事会で協議の結果、これを承認し、11月29日開催の第2回通常総会に諮ることとなった。

(「実務実習検討委員会」の推薦)

名 徳 倫 明 (大阪大谷大学薬学部 教授)

(「第三者評価検討委員会」の推薦)

杉 原 多公通 (新潟薬科大学薬学部 教授・副学長)

(「共用試験検討委員会」の推薦)

野 田 幸 裕 (名城大学薬学部 教授)

(「共用試験検討委員会」並びに大学からの推薦)

松 野 純 男 (近畿大学薬学部 教授)

(「情報科学技術検討委員会」の推薦)

木 下 淳 (兵庫医科大学薬学部 准教授)

#### (6) 入学定員遵守の取り扱いについて

井上会長から、これまで入学定員の遵守については、入学定員超過の問題を契機に「資料7」のとおり、毎年度、「申し合わせ」として、協会全体で共通認識を図っていたが、昨今の薬学部を取り巻く環境の厳しさ、とりわけ少子化等による学生確保が深刻な問題となっていること、また、先般、文部科学省から、「6年制薬学部の新増設の抑制方針」が打ち出されたこと等に鑑み、来年度から本申し合わせを廃止することとして提案があり、これを承認し、11月29日開催の第2回通常総会に諮ることとなった。

なお、本協会として申し合せは廃止するが、各大学におかれては、引き続き入学定員の取扱いについて留意するよう発言があった。

#### (7) 広報誌「6年制薬学ガイド2024」の刊行について

井上会長(広報誌編集委員会委員長)から「資料8」に基づき、今回刊行する「6年制薬学ガイド2024」の編集内容について、6年制薬学教育のこれからの語る座談会(本編集委員及び高校2年生による座談会)、コロナ禍における薬剤師の役割として、重症化リスクのある患者の療養生活をサポートする薬剤師と医師へのインタビュー、大学の学びでは、次期薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を反映した内容を織り込み、また、卒業後の進路では、6年制薬学部を卒業した者を中心に上げること等の説明があった。

なお、本ガイドブックの発行時期については、現在検討中の「薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)」の改訂スケジュールとの関係から、来年5月頃を予定しているとの報告があった。

#### (8) 薬学教育協議会について

- ・「薬学実務実習に関するガイドライン」に関するヒアリングについて

亀井理事から、本協会として薬学教育協議会へ回答した内容についての報告があった。

- ・「薬学実務実習ガイドライン」改訂の現状について

本間参与(薬学教育協議会代表理事)から、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)」と合わせ、本ガイド

ラインを公表することを前提に、協議会内に WG（座長：鈴木 匡  
名古屋市立大学薬学部教授）を設置し、「素案」について検討して  
いる旨の報告があった。

次いで、「資料 9」に基づき以下について報告があった。

- ・ 第 45 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について  
ハラスメントの問題について、広く注意喚起する必要がある。  
就職活動が前倒しとなり、実習中にインターンシップ等を理由に  
欠席することが散見される等の報告があり、意見交換を行った。
- ・ 令和 6（2024）年度実務実習実施日程（原則）について
- ・ 令和 3 年度実務実習実施結果（薬局・病院）について
- ・ 令和 4 年度在籍者数（6 年制学生・4 年制学生）について

#### （9）薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構が主催する「6 年制薬学教育の内部質保証に関する  
シンポジウム（案）」について、「資料 10」の配布があった。

なお、井上会長から、薬学教育評価機構に対し、本シンポジウムの  
開催内容について、早急に各大学へ周知徹底を図るよう依頼して欲しい  
旨の発言があった。

#### （10）その他

（1）令和 4 年度文部科学省委託費（コアカリ改訂）に関する検討状況に  
ついて

井上会長から、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4  
年度改訂版）」に関する今後の検討スケジュールについて、報告が  
あった。

- ・ 11 月 14 日（月）第 5 回薬学教育モデル・コア・カリキュラム  
改訂に関する専門研究委員会
- ・ 11 月 25 日（金）第 4 回薬学系人材養成の在り方に関する検討会

#### 5. その他

（1）国公立大学薬学部長（科長・学長）会議（令和 4 年 10 月 7 日開催）  
における要望事項について（薬学生の就職・採用活動に関するお願い）

国公立大学薬学部長（科長・学長）会議から日本製薬団体連合会  
宛の要望書及び薬学教育協議会（病院・薬局実務実習中央調整機構  
委員会）における議論（就職活動が前倒しとなり、実習中にインタ

ーンシップ等を理由に欠席することが散見される)等の報告を受け、今後の対応を検討した結果、本協会「実務実習検討委員会」及び、薬学教育協議会による合同会議で検討することとなった。

(2) 井上会長から、11月29日開催の第2回通常総会においてご講演をお願いすることとし、帝京大学大学院公衆衛生学研究科の今井博久教授から、「新しい時代の薬剤師の機能と薬学部の教育—リフィルとフォーミュラリを題材に一」と題して予定している旨の報告があった。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、14時40分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和4年11月22日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 井上圭三  
(押印済)

出席理事 神野透人  
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富田基郎  
(押印済)

出席監事 市川厚  
(押印済)